I·O DATA

高感度コンパクトフラッシュ型GPSレシーバー

ＣＦＧＰＳ２

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

122624-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各１部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に１台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- CF+は CompactFlash Association の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

ご使用になる前に

パソコンで使う

PDAで使う

ふろく

安全上のご注意

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

●安全のための注意事項を守る

●道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。
前方注意を怠るなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となる場合があります。
運転者は走行中に本製品の操作をしたり、画面を見たりしないでください。

■ 警告および注意表示

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器、およびPDAのメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。

分解禁止

修理・改造・分解はしないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。

禁止

装置内部へ異物をいれないでください。

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因となります。

水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

厳守

温度差のある場所への移動について

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因となります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

禁止

運転者は走行中に操作しないでください。

走行中に操作するとわき見運転になり、事故の原因となりますので、絶対におやめください。

操作は安全な場所に車を止めてから行ってください。また、歩きながらの使用も事故の原因となりますのでおやめください。

禁止

雨中など、水滴のある場所では使用しないでください。

本製品は、防水構造ではありません。

雨中など、水滴のある場所で使用すると、故障の原因となりますのでおやめください。

禁止

自動車の中ではパソコンを以下の場所に設置しないでください。

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転の妨げになるところ
- 同乗者に危険があると思われるところ
- 不安定なところ
- 灰皿の上
- 熱くなるところ
- 直射日光のあたるところ
- 前方の視界を妨げるところ
- パソコンの画面がフロントガラスに映り込むようなところ（夜間）

禁止

夏場の車内など、高温になる場所に放置しないでください。

本製品の変形・故障や電池の不良の原因となるだけでなく、使用されるパソコンや PDA によっては火災や故障の原因となります。
その他の使用環境については、使用されるパソコンおよび PDA の取扱説明書に従ってください。

厳守

本製品やケーブルは運転や移動を妨げない場所に設置してください。

本製品やケーブルの引き回しによっては、運転や移動の妨げになる場合があり、事故の原因となります。
また、ドアを開けたり、車を乗り降りするときに、ケーブルにひっかからないようにご注意ください。

電池について

※ 本製品はリチウム電池を内蔵しています。

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。

電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

以下のことにご注意ください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。

●火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らしたりしない
●（＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しない
●くぎを刺したり、分解・改造をしない
●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばない
●60℃以上の場所、車中での放置はしない
●電子レンジ・オーブンに入れない
●定格条件以外での使用をしない

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき ➡ ただちに医師に相談してください。

電池液漏れに注意してください。

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して、発火・破裂する恐れがあります。

取り扱いに注意してください。

製品を火中に投入しないでください。

●破裂したり、激しく燃えることがあります。
●製品内部の電池を分解すると、発熱して発火することがあります。
●製品内部の電池を100℃以上に加熱すると、電池内部にガスが発生して、電池内部の圧力の上昇により破裂・発火することがあります。

リチウム電池について

リチウム電池には、リチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。
電池を水に浸したり、100℃以上に熱したり、分解したりしないでください。

リチウム電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠注意

船舶・航空機の主航法装置としてや、登山などの主地図として使用しないでください。

GPS 信号自体の測定誤差が出たり、本製品のバッテリー不足などで現在位置が正確に確認できなくなり、事故やけがの原因となることがあります。本製品は、専門的な計測器としての使用を目的とした開発・製造はされていません。

正しい手順で操作してください。

正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器、PDA のメーカーが指示している警告、注意事項を遵守してください。

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンや PDA から取り外してください。

シンナー・ベンジン・アルコールで拭かないでください。

シンナー・ベンジン・アルコールで本製品を拭くと、変形や変色の恐れがあります。

無線機器などの近くで使用しないでください。

無線機器、金属物、情報機器などを近接して使用する場合は、性能劣化を招く恐れがありますので、ご検討の上ご使用ください。

本製品は、精密電子機器です。強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境で使用および保管しないでください。

本製品を曲げる、強い力や衝撃を加える、落とす、物を上にのせることはしないでください。

禁止

本製品を PDA に接続したままズボンのポケットなどに入れないでください。

座ったときなどに大きな力が加わり、破損する恐れがあります。

本製品は下記のような場所で使用および保管しないでください。

故障の原因となります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- スピーカの近くなど、強い磁気の影響を受ける場所

使用上の注意

・本製品にはルート案内（音声ガイド）の機能はありません。
・パソコン起動中に本製品を取り外すときは決められた手順を守ってください。取り外し方は14ページ【取り外す】をご覧ください。
・本製品と通信デバイスなどを併用した場合、通信ポートに負荷がかかることがありますので、ご注意ください。
・パソコンやPDAで、本製品の機能をご使用中は本製品の取り外しは行わないでください。正常な動作ができなくなります。
・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」、「ACPI機能」やパソコンメーカー独自の省電力機能には対応しておりません。
本製品を使用する場合、これらの機能はあらかじめ無効にしてください。
・パソコンおよびPDAの機種や、本製品の取り付け位置によっては、これら機器から発生するノイズによって性能が劣化する恐れがあります。
・1.5GHz帯を利用している携帯電話機などを本製品の近くで使用すると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなる場合があります。
・本製品のラベルをはがしたり、文字などを記入しないでください。
・本製品にラベルを重ねて貼らないでください。
・直射日光・高温・高湿の場所をさけて保管してください。
・加熱、火中投入はしないでください。
・水に投入しないでください。
・分解、加圧変形はしないでください。
・強制放電や大電流・高電圧での過充電・過放電はしないでください。
・使用する際には必ず取扱説明書または注意書きをよく読んでください。
・改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。
・異常に気がついた場合は使用を停止し、サポートセンターへお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

お読みになる前に

本書での呼び方

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows	上記Windowsの総称

受信する電波と測定誤差について

本製品は、GPS衛星の電波を受信して測定を行っています。

GPS信号の受信について

本製品を以下の場所に設置したり移動した場合は、GPS 信号が受信できなくなり、現在位置が測定できなかったり、実際の位置との不一致が生じたりします。

●トンネルの中や地下
●ビルの駐車場
●屋内
●高層ビルの間
●高架橋の下
●密集した樹木の間
●本製品のまわりに障害物があるとき

1.5GHz 帯を利用している携帯電話機などを本製品の近くで使用すると、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなる場合があります。

接続した機器のノイズによる電波障害について

本製品は高感度アンテナを採用しているため、パソコンまたは PDA から発生するノイズの影響を受けやすくなっております。ご使用のパソコンまたは PDA によっては、これら機器から発生するノイズによって GPS 信号の受信が妨げられる場合があります。
本製品のみで十分な受信感度を得られない場合（測位座標がばらつく場合も含む）はオプションの外部アンテナをご利用ください。（39 ページ参照）

GPS衛星自体による測定誤差について

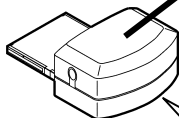
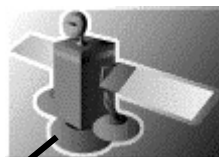
本製品は**3個以上のGPS衛星から電波を受信すると**、自動的に現在位置を測定します。ただし、場合によっては十数メートルの誤差が生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。

・車内でご使用になる場合、夏場等は車内温度が高くなりますので、ダッシュボードに本製品を置かないでください。熱による故障の原因となります。
・本製品は、防水ではありません。雨天時に外（車の屋根など）で使用しないでください。

本製品のご紹介

高感度設計

高感度設計のため、次の点で優れています。

・ビルが多い都心部での使用
・車内（PDA+本製品）での使用

モバイルに最適な設計

モバイルに最適な設計です。

・本体に GPS アンテナを内蔵
・低消費電力

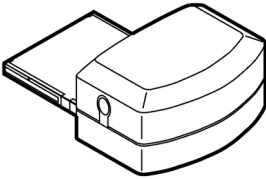
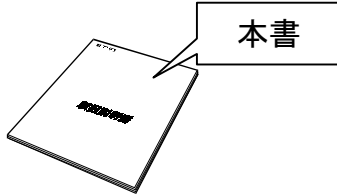
専用地図ソフト添付

地図では定評のある昭文社の地図ソフト「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を標準添付。

箱を開けてから、ご使用になる準備をする前に、いくつか確認事項があります。

箱を開けたら

箱の中身を確認してください

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。

☐ CFGPS2（１台）

☑ 取扱説明書（１冊）

☐ Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA

※ PDA用「Pocket Mapple Digital」を同時収録

☐ 昭文社ユーザー登録カード

☐ ハードウェア保証書

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

ユーザー登録について

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。

※ シリアル番号は本製品に貼られている12桁（例：ABC0987654ZX）のものです。

・シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

⇒http://www.iodata.jp/regist/

動作環境

パソコンでの動作環境

本製品を使用できるパソコンは以下の通りです。

対応機種	Pentium以上のCPUをもち、CF+™ TypeⅡスロット、CF+™ TypeⅠスロット、もしくはCardBus規格に準拠したスロット※1をもつ、以下のノート型の機種 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン （弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。）
対応OS	Windows XP※2、Windows 2000※3、 Windows Me、Windows 98（Second Edition含む）、
メモリ	32Mバイト以上（64Mバイト以上を推奨）
CD-ROM	インストールのために必要。
その他	地図上で現在位置を表示するためには、本製品添付の「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」など、GPS対応の地図ソフトが必要。

※1 CardBusスロットで本製品をご使用になる場合は、別売のPCカードアダプタ「PCCF-ADP」もしくは「CFMD-ADP」が必要です。
※2 インストールの際は、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください。
※3 インストールの際は、「Administrator権限」のアカウントでログオンしてください。

「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を使用するための追加条件

CPU	Pentium 233MHz 以上
メモリ	64M バイト以上（128M バイト以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 640M バイト以上
ディスプレイ	ハイカラー 16bit 以上、800×600 ドット以上
マウス	Microsoft Intellimouse 対応

PDA での動作環境

CF+™ Type II スロット、CF+™ Type I スロット、もしくは CardBus 規格に準拠したスロット※1 をもち、Windows CE を搭載※2 した Pocket PC/Pocket PC2002 でご使用いただけます。
「Pocket Mapple Digital」は「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」をパソコンにインストールし、その後パソコンから PDA へインストールします。

※1 CardBus スロットで本製品をご使用になる場合は、別売の PC カードアダプタ「PCCF-ADP」もしくは「CFMD-ADP」が必要です。
※2 Windows CE 機でご使用になる場合の詳細情報（対応機種、動作環境など）は弊社ホームページをご覧ください。

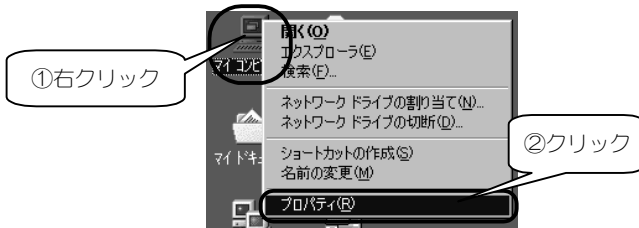
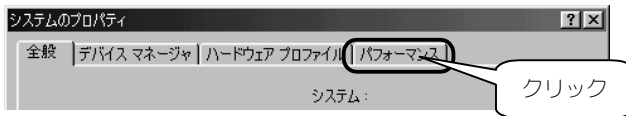
http://www.iodata.jp

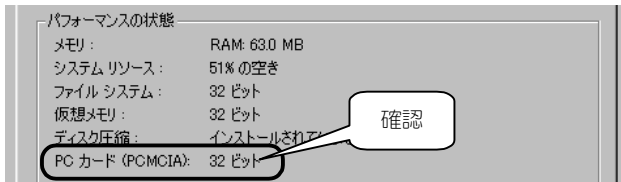
パソコンで使う

取り付ける前のチェック

※ Windows XP/2000でご使用になる場合は、この作業は必要ありません。次ページへお進みください。

32ビットのPCカードドライバはインストールされていますか？

1 ［マイコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

2 ［パフォーマンス］タブをクリックします。

3 PCカード(PCMCIA)欄に［32ビット］と表示されていることを確認します。

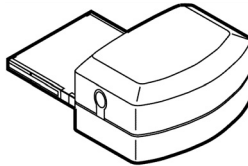
表示されていれば、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

「32ビット」になっていない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックして、処理を終了します。

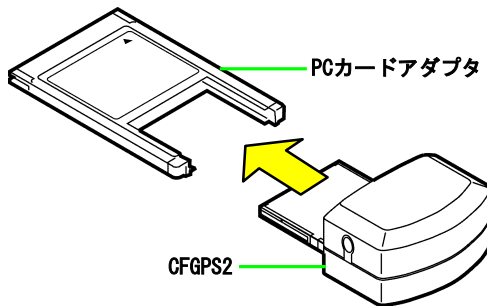
その後、［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の中の［PCカード(PCMCIA)］アイコンをダブルクリックします。PCカードウィザードが起動するので、画面の指示にしたがってインストールしてください。詳細についてはパソコン本体メーカにお問い合わせください。

スロットに合わせて PC カードアダプタを取り付ける

※ パソコンへの取り付けはまだしないでください。

● CF+™ TypeⅡスロットもしくは CF+™ TypeⅠスロットで使う場合

CF+™ TypeⅡスロットもしくは CF+™ TypeⅠスロットならそのまま取付けできます。

● CardBus スロットで使う場合

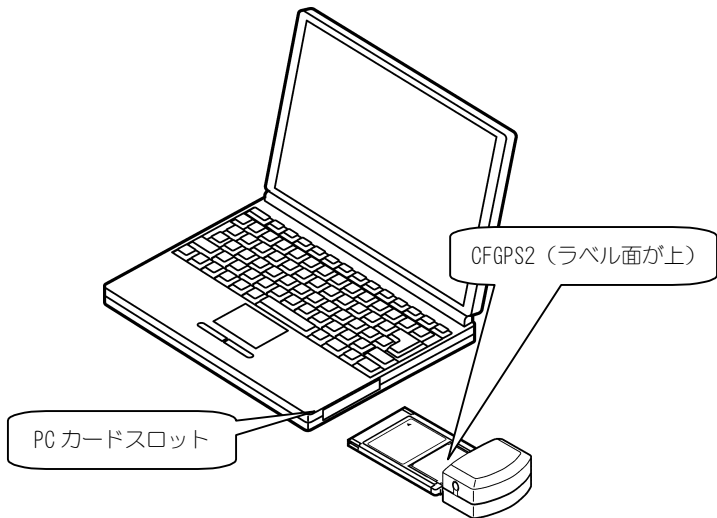
CardBus スロットの場合は別売の PC カードアダプタを取付けます。
PC カードアダプタについては、39 ページ【オプション品】をご覧ください。

取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。

※ CardBus スロットの場合はあらかじめ PC カードアダプタを取り付けておいてください。（前ページ【スロットに合わせて PC カードアダプタを取り付ける】参照）

1 パソコンを起動します。

本製品はパソコンが起動した状態で取り付けます。

2 パソコンの PC カードスロットに本製品を取り付けます。

カードのラベル面を上にして、最後までしっかりと挿入します。挿入されると、ピポッと音がします。

パソコンのスロット位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

取り付けると、自動的にインストールが始まります。

次ページ【インストールする】をご覧ください。

インストールする

パソコンに取り付けると、インストール画面が表示され、自動的にインストールが始まります。取り付けについては前ページをご覧ください。

※ 画面はWindows XPのものですが、特に指示のない限り、どのOSでも同様に作業できます。

インストール

1

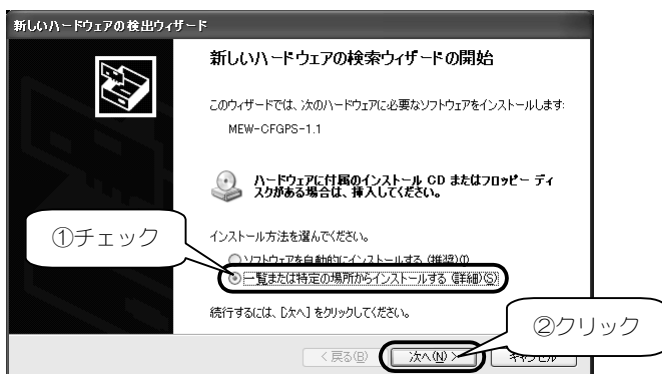
- **Windows XPの場合**

  [一覧または特定の…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

- **Windows 2000の場合**

  [次へ]ボタンをクリックします。

- **Windows Me/98の場合**

  [ドライバの場所を指定…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

2

- **Windows XPの場合**

  [検索しないで、インストール…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

- **Windows 2000の場合**

  [このデバイスの既知のドライバ…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

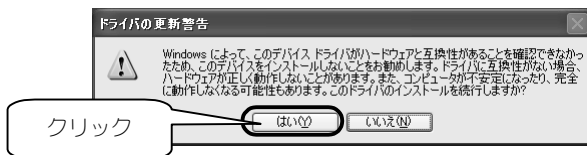
- **Windows Me/98の場合**

  [特定の場所にある全ての…]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

3 [ポート（COM と LPT）]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [製造元]で[（標準ポート）]を、[モデル]で[通信ポート]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

5 下記の画面が表示されますが、特に問題ないので、[はい]ボタンをクリックします。

▼ Windows XP/2000

▼ Windows Me/98

6
- **Windows XP の場合**
  [完了]ボタンをクリックします。
- **Windows 2000/Me/98 の場合**
  [次へ]ボタン→[完了]ボタンをクリックします。

7 Windows を再起動します。

以上でインストールは完了です。
次は、次ページ【インストール終了後の確認】でインストールが正しくできたかどうか確認してください。

インストール終了後の確認

インストールが正しくできたかどうか確認します。本製品をパソコンから外した状態で確認してください。

1

・Windows XP/2000 の場合

[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックします。

・Windows Me/98 の場合

[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]をクリックします。

2

・Windows XP/2000 の場合

[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

・Windows Me/98 の場合

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 [ポート（COM と LPT）]をダブルクリックし、下の[通信ポート（COMx）]の表示を確認します。

4 [デバイスマネージャ]を閉じます。

5 本製品をパソコンに取り付けます。

ピポッと音がします。

再度手順 *1*～*2*を行い、[デバイスマネージャ]の[ポート（COM と LPT）]下の表示を確認します。

手順*3*の時にはなかった、新しい[通信ポート（COMx）]があることを確認します。

参考

[COMx]の”x”の部分には、数字が入りますが、何番になるかはご使用の環境により異なります。
この COM 番号は、地図ソフトでの設定時に必要ですので、覚えておいてください。

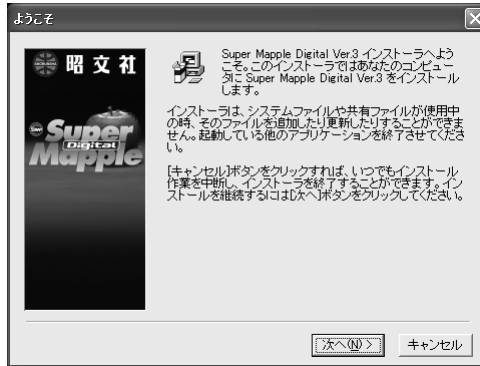
タスクトレーに[PC カード]アイコンの表示があることも確認します。

[PC カード]アイコンをクリックすることで、COM 番号の表示がでます。この方法でも COM 番号の確認ができます。

表示が正しくでていれば大丈夫です。
次は添付の地図ソフトをインストールします。次ページをご覧ください。

地図ソフトをインストール

1 添付の「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動します。

2 メッセージに従ってインストールをすすめます。

インストーラが自動的に起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を起動し、[名前]で[E:¥SETUP.EXE]を指定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

次は、17ページ【地図ソフトで使う】をご覧ください。

なお、パソコン起動中に本製品を取り外す場合は、次ページ【取り外す】をご覧ください。

取り外す

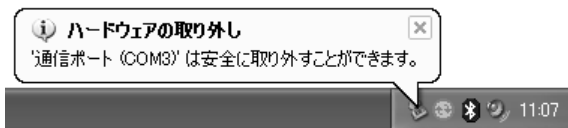
パソコンが起動していないときときは、そのまま取り出すことができますが、パソコンが起動中に、本製品を取り外す場合は決められた手順で行う必要があります。

- **正しい手順を行わずに CFGPS2 をスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する場合があります。**
- **CFGPS2 を取り外す前に、CFGPS2 を使用していないことを確認してください。**
- **下記の取り外し操作を行うと、実際にスロットから CFGPS2 を抜かなくても CFGPS2 の動作は終了したとみなされ、CFGPS2 は使えなくなります。再度、使用したい場合はいったん CFGPS2 を抜いた後、もう一度、差し込んでください。**
- **複数のアプリケーションで CFGPS2 を同時に動作させた場合、以下の手順を行っても取り外しできなくなる場合があります。この場合は、パソコンの電源をいったん切ってから取り外してください。**

Windows XP で取り外す

1 タスクトレーの[PC カード]アイコンをクリックし、表示された[通信ポート（COMx）を安全に取り外します]をクリックします。

2 下記の表示がでたら、本製品をパソコンから取り外します。

PC カード取り出しボタンの位置等についてはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

Windows 2000 で取り外す

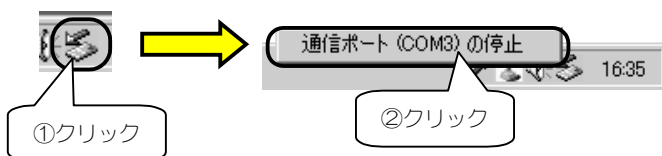
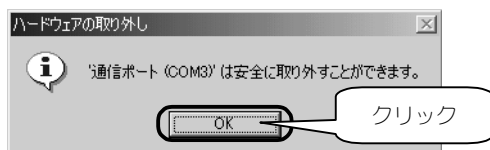
1 タスクトレイの[PC カード]アイコンをクリックし、表示された[通信ポート（COMx）を停止します]をクリックします。

2 下記の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品をパソコンから取り外します。

PC カード取り出しボタンの位置等についてはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

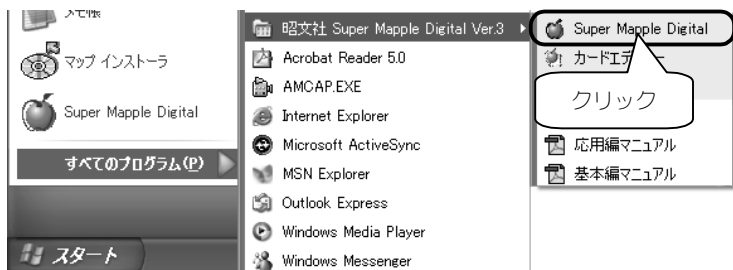
Windows Me/98 で取り外す

1 タスクトレイの[PC カード]アイコンをクリックし、表示された[通信ポート（COMx）の停止]をクリックします。

2 下記の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品をパソコンから取り外します。

PC カード取り出しボタンの位置等についてはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

地図ソフトで使う

起動する

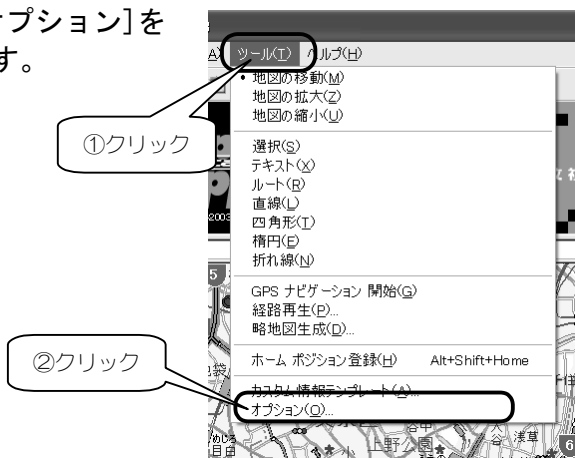
[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[昭文社 Super Mapple Digital Ver3]→[Super Mapple Digital]をクリックします。

設定する

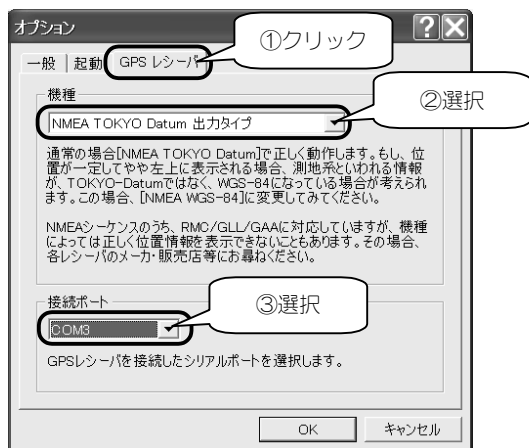
「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」上で本製品を認識できるようにするための設定です。

1 「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を起動します。

上記の【起動する】をご覧ください。

2 [ツール]→[オプション]をクリックします。

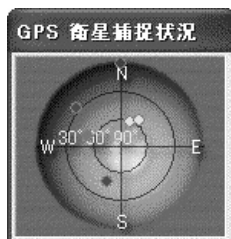
ツール(T) ヘルプ(H)
地図の移動(M)
地図の拡大(Z)
地図の縮小(U)
選択(S)
テキスト(X)
ルート(R)
直線(L)
四角形(T)
楕円(E)
折れ線(N)
GPS ナビゲーション 開始(G)
経路再生(P)...
略地図生成(D)...
ホーム ポジション登録(H) Alt+Shift+Home
カスタム情報テンプレート(A)...
オプション(O)...
①クリック
②クリック

3 [GPS レシーバ]タブをクリックします。[機種]は[NMEA TOKYO Datum 出力タイプ]にします。[接続ポート]では、本製品が認識されている COM 番号を選択します。

COM 番号は、11 ページ【インストール終了後の確認】の手順**6**の表示で確認できます。または、タスクトレーの PC カードアイコンをクリックすることで確認できます。

4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [ツール]→[GPS ナビゲーション開始]をクリックします。

本製品が正常に認識されると、衛星の捕捉状況を示すウィンドウが表示されます。

ご使用の環境により、数分かかる場合があります。

ウィンドウ上の点は衛星の位置を示し、赤く黄く緑の順に受信強度が強いことを表しています。

参考

本製品との連携を終了するには、[ツール]→[GPS ナビゲーション実行中]をクリックします。

その他の使い方について

本書では地図ソフトの使い方に関する詳細は説明しておりません。
詳細については、「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」のオンラインヘルプをご覧ください。以下のいずれかの手順でご覧いただけます。

[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[昭文社 Super Mapple Digital Ver3]から、[応用編マニュアル]、または[基本編マニュアル]をクリックします。

「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を起動（17ページ【起動する】参照）してメニューの[ヘルプ]→[ヘルプ]をクリックします。

添付地図ソフト に関するお問い合わせ

添付の地図ソフト「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」に関する使用方法、その他に関しては、弊社ではお受けできません。
ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

● **昭文社**

Super Mapple Digital Ver3.0 ユーザーサポート係

メール：smdv3@mapple.co.jp

※ メールのみでの受付となります。

注意！

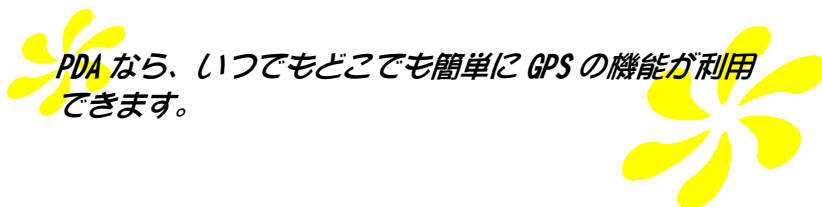
● **お問い合わせの前に…**

・必ずオンラインヘルプ「基本編マニュアル」137 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。
「基本編マニュアル」は[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[昭文社 Super Mapple Digital Ver3.0]→[基本編マニュアル]でご覧いただけます。

・[ヘルプ]→[アップデートの確認]でサポートページにアクセスし、内容をご確認ください。
※ インターネットへの接続環境が必要です。

● **お問い合わせの際は以下の点をお知らせください。**

・お客様のお名前/ご住所/お電話番号/メールアドレス
・製品名とバージョン　（Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA）
バージョンは[ヘルプ]→[バージョン情報]で確認できます。
・ご使用パソコンの本体メーカー/機種名
・ご使用の OS の種類/バージョン
・疑問点、不具合の内容と発生時の操作手順

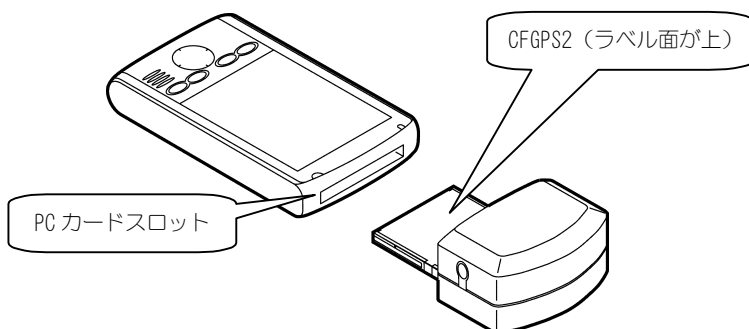
PDAで使う

PDAなら、いつでもどこでも簡単にGPSの機能が利用できます。

取り付ける

本製品を PDA に取り付けます。
※ CardBus スロットの場合はあらかじめ PC カードアダプタを取り付けておいてください。（7 ページ【スロットに合わせて PC カードアダプタを取り付ける】参照）

1 PDA を起動します。

本製品は PDA が起動した状態で取り付けます。

2 PDA の PC カードスロットに本製品を取り付けます。

カードのラベル面を上にして、最後までしっかりと挿入します。
PDA のスロット位置については、PDA の取扱説明書をご覧ください。

次は、次ページ【インストールする】をご覧ください。

インストールする

パソコンからPDAに「Pocket Mapple Digital」をインストールします。

※ パソコンに「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」をインストールした状態で作業してください。（13ページ【地図ソフトをインストール】参照）

インストール前の確認

- **パソコンとPDAの接続等については、各取扱説明書をご覧ください。**
- **パソコン内に3種類のcabファイルがあることを確認します。**

  パソコンに「Pocket Mapple Digital」をインストールすると、「C:¥Program Files¥Super Mapple Digital Ver.3¥Pocket Mapple Digital」フォルダに、以下の3種類のファイルがコピーされます。

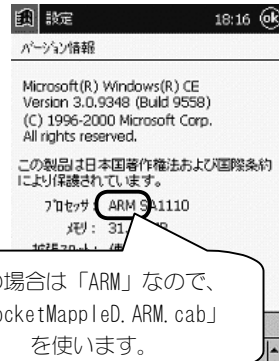
  PDAのプロセッサごとのcabファイルです。

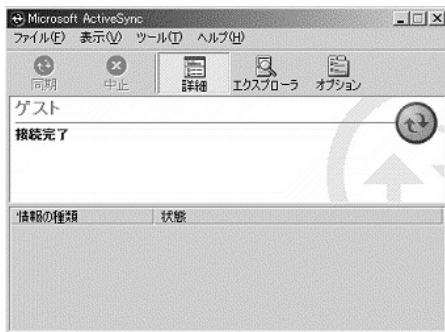
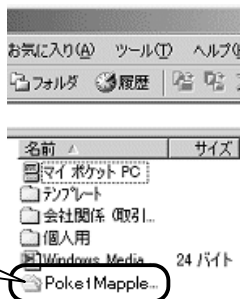
  ※ インストール先を変更した場合は、変更したフォルダの「Pocket Mapple Digital」フォルダ内にコピーされます。

  - ARM用
    「PocketMappleD.ARM.cab」
  - MIPS用
    「PocketMappleD.MIPS.cab」
  - SH3用
    「PocketMappleD.SH3.cab」

Cabファイルをインストールする

1 PDAのプロセッサの種類を確認します。

PDAにてスタートメニューから[設定]を選択し、[設定]ウィンドウの[システム]タブにある[バージョン情報]アイコンをタップし、[プロセッサ]を確認します。

2 PDAのプロセッサにあったcabファイルを「Microsoft ActiveSync」等の転送ツールを使って、PDA内の任意のフォルダに転送します。

ここでは、ツール「Microsoft ActiveSync」を使って転送します。（メモリデバイスを使ったインストールファイルのコピーも可能です。）

3 各プロセッサに合った「cabファイル」をドラッグアンドドロップして、PDAに転送します。

4 転送したcabファイルを実行し、インストールします。

転送したcabファイルを実行すると、「Pocket Mapple Digital」がインストールされます。

本製品を取り外す場合は、PDAの取扱説明書で、CFカードの取り外し方、もしくはPCカードの取り外し方をよくご確認になり、指示に従って取り外してください。

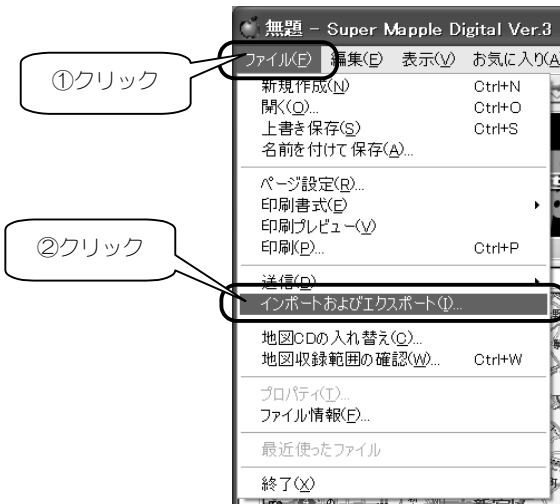
地図をインストールする

ベクトル地図、もしくはラスター地図をパソコン上の「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」から出力（エクスポート）します。
初期状態では、地図の出力先は「My Documents¥Shobunsha」になります。

● **ベクトル地図とラスター地図について**
ベクトル地図とは、「画像データ」化された地図ではなく、パソコンやPDA上でデータとして扱うことができる地図です。
ラスター地図は、「画像データ」として存在する地図です。ベクトル地図に比べて詳細な地図です。

1 パソコンからPDAへファイルを転送するための準備をします。

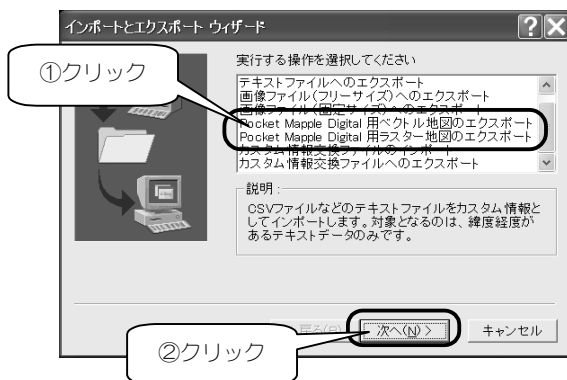
PDAの取扱説明書をご覧ください。

2 パソコンで「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を起動し、メニューの[ファイル]→[インポートおよびエクスポート]を選択します。

3

ベクトル地図の場合

[Pocket Mapple Digital 用ベクトル地図のエクスポート]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

ラスター地図の場合

[Pocket Mapple Digital 用ラスター地図のエクスポート]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

4

後は、画面のメッセージに従ってすすめてください。

・ベクトル地図の場合

「My Documents¥Shobunsha」フォルダ内にいくつかのファイルが作成されます。「Shobunsha」フォルダをそのまま PDA の「My Documents¥Shobunsha」フォルダに上書きコピーします。

・ラスター地図の場合

「xxxx.mpr」というファイルが作成されます。このファイルを PDA の「My Documents¥Shobunsha」フォルダ内にコピーしてください。

地図ソフトで使う

起動する

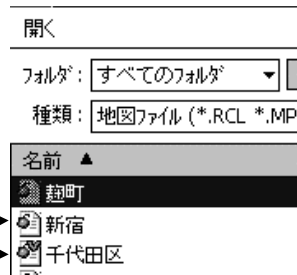
1 [スタート]→[プログラム]→[PocketMappleD3]をタップします。

※ この状態では、まだ地図は表示されません。

2 地図を開きます。

メニューの[地図]→[地図を開く]から、インストールされているベクトル地図もしくはラスター地図を開きます。

・ベクトル地図（拡張子.rcl）
“V”の入った地図アイコン
（図の「千代田区」等）

・ラスター地図（拡張子.mpr）
通常の地図アイコン
（図の「新宿」等）

設定する

「Pocket Mapple Digital」上で本製品を認識できるようにするための設定です。

1 [スタート]→[プログラム]→[PocketMappleD3]をタップします。

2 画面右下の をタップします。

設定画面が表示されます。

3 [機種]、[接続ポート]を設定後、[実行]ボタンをタップします。

[機種]: NMEA TOKYO Datum 出力タイプ
[接続ポート]:COMx を指定しますが、COM 番号はご使用の PDA により異なります。

参考

本製品との連携を終了するには、もう一度、 をタップします。

位置の測位

「Poket Mapple Digital」を起動して前ページ【設定する】を行うと、位置測位されます。
画面右上には受信状態が表示されます。
※ 同じ場所に 10 秒以上停止している場合、表示が「GPS:ロスト」となりますが、移動すると「GPS:捕捉」に戻ります。

● 受信状態の表示

「GPS:検索中」 GPS からの位置情報を待っている状況で表示されます。
「GPS:補足」 GPS の位置情報を取得しています。
「GPS:ロスト」 GPS の位置情報が途切れた状況で表示されます。（停止中も「GPS:ロスト」になります。）

参考

- **画面中心の矢印の先が進行方向を表します。**
- **ベクトル地図の場合、[地図]→[GPS ヘッドアップ] を選択すると、進行方向が常に上に表示されるよう地図を回転します。**

情報の保存

地図上に、テキスト、ルート、直線、四角形、楕円、折れ線等（カスタム情報）を書き込んだ場合、GPS を終了時にこれらのカスタム情報を保存するかどうかを選択できます。

画面右下の をタップして GPS を終了します。
GPS の軌跡をカスタム情報として保存するかどうかの表示が出ます。

[はい]ボタンをタップすると保存して終了します。
[いいえ]ボタンをタップすると、保存せずに終了します。

その他の使い方

- **地図のスクロール→次ページ**
- **ベクトル地図/ラスター地図の切り替え→次ページ**
- **ベクトル地図の回転→次ページ**
- **ベクトル地図上の文字の大きさを変える→31 ページ**
- **ベクトル地図の拡大/縮小→31 ページ**

本書では地図ソフトの使い方に関する詳細は説明しておりません。
詳細については、パソコン上で「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」のオンラインヘルプをご覧ください。以下のいずれかの手順でご覧いただけます。

[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[昭文社 Super Mapple Digital Ver3]から、[応用編マニュアル]、または[基本編マニュアル]をクリックします。

「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」を起動（17 ページ【起動する】参照）してメニューの[ヘルプ]→[ヘルプ]をクリックします。

● 地図のスクロール

・メニューの[地図]→[地図移動モード]を選択して、地図をスタイラスでドラッグすることで地図をスクロールさせることができます。
・地図をダブルタップすると、その場所が画面中心になるように地図が移動します。

・ベクトル地図移動時に時計の回転のようなアニメーションが表示される場合、画面の範囲に入った新しいベクトル地図を読み込んでいますので、そのまましばらくお待ちください。
・ベクトル地図移動操作後、地図が完全に描画されない場合は、ステータスバーをタップして画面の再描画を行ってください。

● ベクトル地図/ラスター地図の切り換え

メニューの[地図]→[ラスタ地図切り換え]または[ベクトル地図切り換え]でベクトル地図、ラスター地図を切り換え表示します。

ベクトル地図、ラスター地図を切り換えると、地図の読み込みが発生しますので、表示されるまでに時間がかかります。

● ベクトル地図の回転

メニューの[地図]→[地図回転モード]を選択し、ベクトル地図をスタイラスでドラッグします。
地図を回転させる方向を決めて、スタイラスを画面から離します。

メニューの[地図]→[東西南北回転]のサブメニューと、タップアンドホールドメニューのサブメニューから[南東 135 度]等を選択してベクトル地図を回転させる方法もあります。

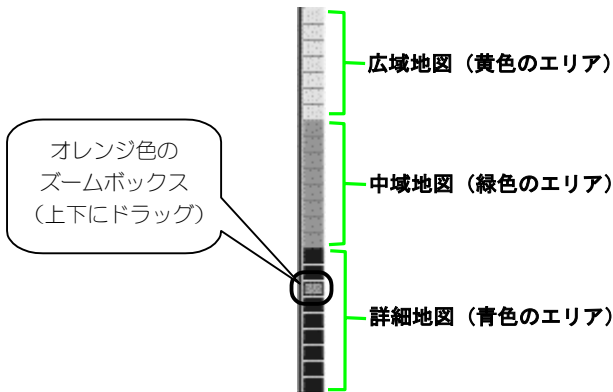
ベクトル地図の回転で画面に入る地図の範囲が変化しますので、地図の読み込みが発生する場合があります。

● ベクトル地図上の文字の大きさを変える

メニューの[編集]→[ベクトル地図フォント小]をチェックすると、小さい文字で表示します。

メニューの[編集]→[ベクトル地図シンボル小]で、画面上の信号等のシンボル表示の大きさを変えることができます。

● ベクトル地図の拡大/縮小

ズームバー内の各エリア（黄色/緑色/青色のエリア）をタップするか、またはオレンジ色のズームボックスを上下にドラッグします。
ズームボックスの位置は現在の地図の大きさを表します。

「広域」、「中域」、「詳細」を切り替えると、改めて地図を描画するため、時間がかかります。
ただし、その縮尺の地図データがない場合は、地図は表示されません。

各エリア内で仕切られている各枠のズーム率（%単位）は以下の通りです。

黄色　広域地図（1/20 万）
ズーム率：350, 300, 250, 200, 150, 100, 50
緑色　中域地図（1/5 万）
ズーム率：450, 400, 350, 300, 250, 200, 150, 100
青色　詳細地図（1/1 万）
ズーム率：500, 450, 400, 350, 300, 250, 200, 150, 100

添付地図ソフト に関するお問い合わせ

添付の地図ソフト「Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA」に関する使用方法、その他に関しては、弊社ではお受けできません。
ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

● **昭文社**
Super Mapple Digital Ver3.0 ユーザーサポート係
メール：smdv3@mapple.co.jp
※ メールのみでの受付となります。

注意！

● **お問い合わせの前に…**
- **必ずオンラインヘルプ「基本編マニュアル」137 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。**
  「基本編マニュアル」は[スタート]→[すべてのプログラム]（または[プログラム]）→[昭文社 Super Mapple Digital Ver3.0]→[基本編マニュアル]でご覧いただけます。
- **[ヘルプ]→[アップデートの確認]でサポートページにアクセスし、内容をご確認ください。**
  ※ インターネットへの接続環境が必要です。

● **お問い合わせの際は以下の点をお知らせください。**
- **お客様のお名前/ご住所/お電話番号/メールアドレス**
- **製品名とバージョン　(Super Mapple Digital Ver3.0 for I-O DATA)**
  バージョンは[ヘルプ]→[バージョン情報]で確認できます。
- **ご使用パソコンの本体メーカー/機種名**
- **ご使用の OS の種類/バージョン**
- **疑問点、不具合の内容と発生時の操作手順**

ふろく

困ったときには

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポート Web ページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
News など

状態	参照ページ
PC カードドライバの確認で、「PC カードドライバがインストールされていません」と表示される。または、コントロールパネルの中に「PC カード(PCMCIA)」アイコンが存在しない。	35 ページ
CFGPS2 をパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない。	
デバイスマネージャ画面で「通信ポート（COMx)」が表示されない。	
デバイスマネージャ画面で「通信ポート(COMx)」の先頭に「！」マークが表示されている。	36 ページ
CFGPS2 を取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された。	38 ページ

PC カードドライバの確認で、「PC カードドライバがインストールされていません」と表示される。または、コントロールパネルの中に「PC カード（PCMCIA）」アイコンが存在しない。（Windows Me/98（SE 含む）のみ）

原因	PC カードドライバがインストールされていない。
対処	拡張ボードなどで増設した場合は、ボードの取扱説明書をご参照になり、正しくインストールしてください。 購入時から PC カードスロットが付いていた場合は、購入した販売店へお問い合わせください。

CFGPS2 をパソコンに挿入しても、インストール画面が表示されない。

原因 1	CFGPS2 がしっかりと挿入されていない。
対処	ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

原因 2	CFGPS2 の表裏が逆になっている。
対処	CFGPS2 のラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

原因 3	すでにインストール済みである。
対処	一度インストールすると、次からはインストール画面は表示されません。11 ページ【インストール終了後の確認】で「通信ポート（COMx）」が表示されれば、すでにインストール済みです。そのままお使いください。

デバイスマネージャ画面で「通信ポート（COMx）」が表示されない。

原因 1	CFGPS2 がしっかりと挿入されていない。
対処	ピポッと音がするまでしっかりと挿入してください。

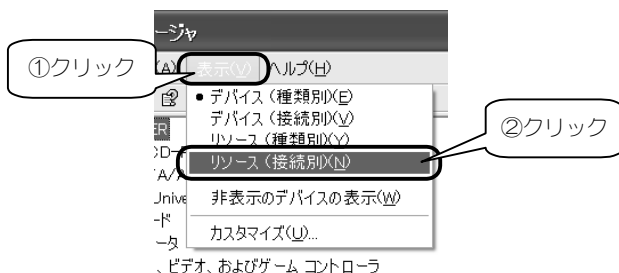
原因 2	CFGPS2 の表裏が逆になっている。
対処	CFGPS2 のラベル面を確認してください。通常はラベル面を上にして挿入しますが、パソコンによっては表裏逆にして挿入する場合もあります。ご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

デバイスマネージャ画面で「通信ポート（COMx）」の先頭に「！」マークが表示されている。

原因	リソースが競合している。
対処	下記の手順を実行し、リソースを確認します。

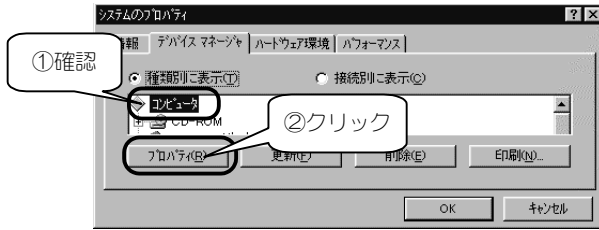
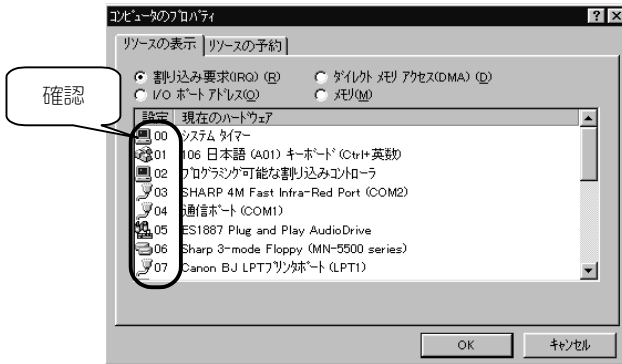
● Windows XP/2000の場合

1　・Windows XPの場合
[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]→[ハードウェア]タブをクリックします。
・Windows 2000の場合
[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]→[ハードウェア]タブをクリックします。

2　[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。[表示]→[リソース（接続別）]をクリックします。

3　[割り込み要求（IRQ）]をダブルクリックし、[割り込み要求（IRQ）]の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します。

● Windows Me/98 の場合

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]→[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

2 [コンピュータ]が選択された状態で、[プロパティ]ボタンをクリックします。

3 IRQ（割り込み要求）の一覧が表示されるので、飛んでいる番号（空き）があるかどうかを確認します（下記は空きのない例）。

・IRQ の空きがない場合

使用していない何らかの機能を無効にし、空きのある状態にします。その後 CFGPS2 を抜き、もう一度差し込んでください。
（無効にできる機能に関してはパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーでご確認ください。）

・IRQ の空きがある場合

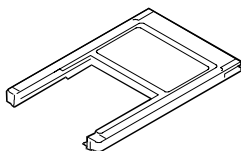
実際は内部で使用されている場合があります。他の割り込みを使用する PC カードをお使いの場合は、その PC カードが使用可能かどうか、確認してみてください。

CFGPS2 を取り外したら、「予期しない PC カードの取り外し」という画面が表示された。

原因	決められた手順で CFGPS2 を終了させる前に、CFGPS2 を取り外した。
対処	CFGPS2 は決められた手順にしたがって、取り外してください。取り外し方は 14 ページ【取り外す】をご覧ください。 正しい手順で取り外さないと予期しない障害が発生する可能性があります。

オプション品

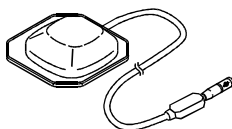
PC カードアダプタ

本製品を CardBus スロットでご使用になる場合は、別売の PC カードアダプタ「PCCF-ADP」もしくは「CFMD-ADP」が必要です。

※ CFMD-ADP は、マイクロドライブ専用の PC カードアダプタですが、本製品にもご使用いただけます。

外付け GPS アンテナ

今後、以下のオプション品「外付け GPS アンテナ」を発売予定です。本製品単体では衛星が受信しづらい場合にご使用ください。
詳細については、弊社ホームページにてご案内予定です。

http://www.iodata.jp

※ 発売時期・詳細等については現在未定です。

ハードウェア仕様

型式番号	CFGPS2
インターフェース	CF+™ Type I 準拠
受信周波数	1575.42MHz（C/A コード）
受信方式	マルチチャンネル（12 チャンネル）
受信精度	-140dBm 以下
測位更新時間	約 1 秒毎（可変）
入出力データフォーマット	NMEA-0183
測地・座標系	Tokyo 測地系
測位精度	10m以下（2DRMS、SA OFF）
速度精度	0.2m/秒（SA OFF）
使用温度範囲	+0℃～+40℃
使用湿度範囲	90%以下（結露なきこと）
電源電圧	3.3V ± 5%
消費電力	最大値 120mA 以下
外形寸法（H×W×D）	約 79.8×57×22（mm）
質量	約 60g

用語解説

GPS（ｼﾞｰﾋﾟｰｴｽ）（*Grobal Positioning System*）

24 個の衛星と地上の制御局を利用して利用者の現在位置を測定するシステム。４つ以上の衛星からの電波到着時間の差によって、現在位置を測定する。メートル単位の測定が可能。本来は軍事用に開発されたシステムであるが（GPS 衛星は米国国防省が管理)、最近では地学の研究やカーナビゲーションシステムなどに用いられるようになった。

コンパクトフラッシュ

米国 SanDisk 社のフラッシュメモリ技術を利用して開発されたフラッシュメモリカード。デジタルカメラや、ハンドヘルド PC 等を中心に利用されている。PCMCIA スロットに対しては、データ信号で互換性があり、専用のアダプタを使用するだけでつなぐことができる。

COM ポート（ｺﾑﾎﾟｰﾄ）

パソコンと周辺機器をつなぐシリアルインターフェース。主にモデムや赤外線通信機器などの通信系機器を接続する。COM ポートはシステム側で自動的に番号が割り当てられてられる（COM1、COM2 など)。この番号を COM 番号（または COM ポート番号）と呼ぶ。COM ポートに割り当てられた機器をアプリケーションで使用するときは、この COM 番号を指定する必要がある。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
News など

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOS
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル NO.（製品に貼付されています)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OS など）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。